

団体名 豊見城市立伊良波小学校	連絡先 TEL : 098-850-9213 Eメール : e-iraha@city.tomigusuku.o0kinawa.jp
----------------------------------	--

1 実践事項 (②)

タイトル：「確かな学力の定着と基本的な生活習慣の確立を図る取組」

2 実践内容

(1) 確かな学力

①基礎的・基本的事項の定着

ア：日々の授業の充実のために教材研究の時間の確保。週2回（火・木）

イ：必読書の奨励【写真1】

国語教科書に紹介されている並行図書を学級ごとに常時掲示し意識づける。読書の質の向上を目指し、各学年で年間20冊以上読むように声かけを実施した。

②思考力・判断力・表現力の育成

ア：校内研修

・「問いを持って学びに向かう児童の育成」【写真2・3】

～「やってみたい」「できそうだ」と思える体育科の授業づくりを通して～

今年度、テーマは変えず、平成27年度から8年間取り組んできた国語科から体育科に教科を変えて『問い』を児童にもたせる授業づくりの研究を行った。

・県学力定着状況調査（学びのたしかめ）の分析結果をもとに職員が指導方法を話し合うことで、今後の学習指導の工夫改善にいかせるようにした。【写真4】

③学習規律の徹底

ア：「伊良波っ子のきまり」（5月、9月、1月）【写真5】

「伊良波っ子のきまり」を共通理解のもと実施し児童自ら振り返りをさせることによって、学習規律を児童に意識させた。

イ：授業と連動した家庭学習の取組（4月～）【写真6】

家庭学習の手引きを各家庭に配布し各家庭と連携をして学習を進めた。内容は授業に関連する内容で、担任が指定したり、児童が考えたりして取組ませた。

(2) 豊かな心

①人間関係作りの力

ア：地域人材の活用【写真7】

クラブ活動では外部講師として地域人材を活かし、より専門的な知識や技術の指導を受けることができた。（クラブ活動、ミシンボランティアなど）

イ：39（サンキュー）言葉【写真8】

受容的な学級・学校作りをめざし、各学級から心の温かくなることばを出し合い、その言葉を廊下に常時掲示し、児童の目につくようにした。

ウ：道徳教育の充実

令和4年度教育研究所研究員による研修報告と各学年による教材研究、また、授業参観日に

道徳の授業を実施した。

エ：弁護士によるいじめ防止教室

弁護士をお招きし、いじめに関する事例をあげてもらいながら、命の大切さや、仲間を思いやる行動、言葉づかいなどを考える学習を行った。

(3) 健やかな体

①生活と関連した健康づくり・体力づくり

ア：てくてく登校（徒歩登校）の推奨

日頃から徒歩登校を推奨している。水曜日は「てくてく登校の日」として、前日から放送委員による呼びかけと、当日は体育委員による学級ごとの聞き取り調査によって達成率を出す。また、通学路に徒歩登校のスタート位置を設置することで児童が自主的に徒歩登校をできるようにした。

イ：縄跳びの推進【写真9】

縄跳びの補助板が常時設置されており、休み時間ごとに児童が練習に使用した。また、1月は「体力向上月間」と位置づけ、「校内なわとび大会」を実施し、積極的に体力づくりに取り組む。

(4) 基本的な生活習慣

①生活リズムの確立

ア：生活リズムカード（5月、8・9月、1月）【写真8】

生活日課表を活用して家庭と連携をとり、自己評価をして基本的な生活習慣を身につけさせるように取組んだ。また、その成果と課題を家庭に報告することで共通の課題として課題解決にも取り組むようにした。

3 説明資料



【写真1】必読書の奨励



【写真2】校内研修



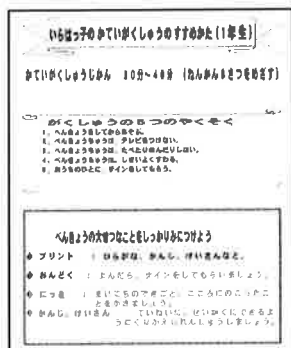
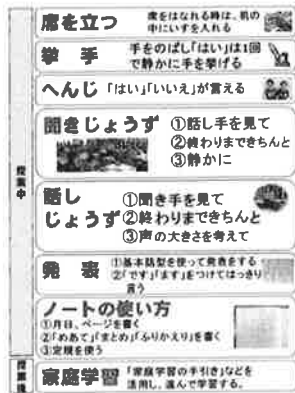
【写真3】校内研修



【写真4】「学びのたしかめ」



【写真5】いらはっ子のきまり



【写真6】家庭学習の手引き(低・高)



【写真7】地域人材の活用(租税教室)



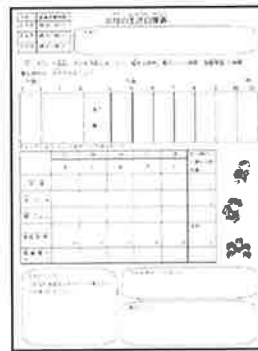
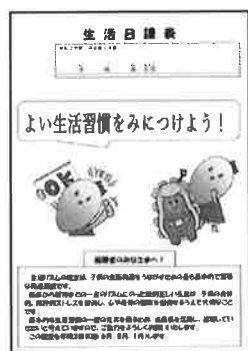
【写真8】39言葉の掲示



【写真9】縄跳びの推進



【写真10】生活リズムカードの結果を保護者へ報告



【写真11】生活リズムカード 表紙, 低学年用, 高学年用

4 成果

- 全職員の共通理解と共通実践のもと確かな学力の定着と豊かな心を育むことができた。
- 保護者との連携を図ることで健やかな体と基本形な生活習慣を身に付けることができた。

5 課題

- ICTを活用した授業改善や校務改善に努める必要がある。